

なる環境の中に身を置いた中田さんでしたが、「朝起きた時の空気の透明感が違いますね。地域の方も親切で、ここでの暮らしが大変気に入っています」と笑顔を見せます。また「こうした地域の行事に参加したのは初めてです。草刈り機の扱いは慣れてませんが、先輩たちに教えるてもらいうながら、どうにかお役に立てます」と笑顔で汗を流していました。



地域で親しまれている「権現さん」

## わがまち散歩



熊本地震で発生した横ずれ断層。「布田川断層帯」として国天然記念物に指定されています



昔に比べて子どもたちが増えたことを喜ぶ、区長の永野さん

堂園地区には50数戸の家族が暮らしています。「過疎化問題を抱える地域は多くありますが、堂園では若い家族が増えています。以前は小学校に通う子どもは1~2人くらいだったけれど、現在は十数人の子どもたちが元気に登校しており、地域が若返っていくのをうれしく思います」と話すのは、区長の永野敬尚さんです。

## みんなが親戚のよう

地域を担う若手で、自動車整備業を営む田上司さんは、4年前に妻の実家がある堂園に住まいを構えました。「隣家の人の顔すら知らない」と、地域のコミュニティの大切さを思います」と田上さんは言います。消防団に所属している田上さんは、「週に2回、操法の練習をしています。練習以外の時も消防団の詰め所に集まり、雑談を交わします。嫁さんたちも、詰め所にいると分かって安心してるみたいです」と笑います。

また3人の子どもの親である田上さんは「子どもたちにとって、ここ環境はありがたく、どなたも親戚のおじちゃんおばちゃんのようでお温かく見守ってくれています」とほほ笑みます。

田上さんと立ち話をしていると、シニアカーにまたがった山本稻男さん



堂園にある消防団の詰め所。田上さんと仲間の集いの場所でもあります



気さくな人柄の田上さん



左／いい笑顔を見てくれた山本さん  
左／つづーっと去って行く姿が渋すぎます

に遭遇。田上さんは「俺のマブダチです」と山本さんに手を振ります。それを受けて山本さんも笑顔でVサイン。「今年、数えの90です。昔しゃういが飲みよつたばつてん、今はコップ1杯の焼酎の晩酌が楽しみたい」と山本さんはニンマリ笑つて、さつそうと立ち去つていきました。渋い…。



田上さんはこの愛車に乗って、デリバリーの自動車整備に汗を流しています